

# (農) 安清集落営農組合 (富山県南砺市)

## 組織の概要

- 集落内85%の農家が構成員となり、H8年に設立
- 構成農家 26戸
- 有機資材を活用した土づくりに積極的に取り組み、減化学肥料、減農薬を実現
- ドローンを活用した、若者主体の「楽しく生産性の高い農業」の実現



## 生産概要

- 【作付面積】水稲：22ha、大麦：11ha、大豆：7ha、たまねぎ：2ha (R4年)
- 園芸作物 (たまねぎ、白ねぎ、とうもろこし) を含めた複合型経営
- 基盤整備事業 (H13) により、1ha区画の汎用化水田を整備し、生産性の向上を図る

## 取組のポイント

### <需要に応じた生産を徹底>

- 地域内での話し合いを実施し、硝子率の低減など需要動向に応じた大麦の生産を図る

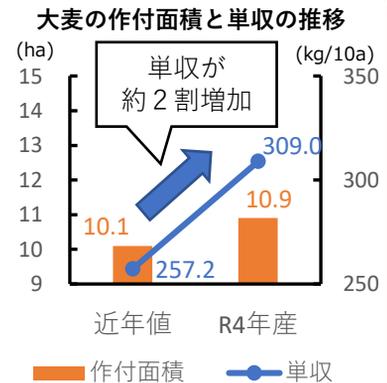
### <団地化の推進及び排水性と地力の向上による収量・品質の高位安定化>

- 水系別に団地化し、米、麦、大豆を3年ローテーション
- 大規模に連担することにより、圃場の地下水位を低下させるほか、100馬力のトラクター及びサブソイラの導入により排水性を向上させ、安定生産に繋げる
- 牛糞堆肥1,000kg/10aまたは鶏糞150kg/10aの施用による化学肥料の2割削減
- 雑草防除などの作業を機械作業で行うことによる作業の効率化

## 取組成果

### <大麦生産の高位安定化を実現>

- 作付面積が増加  
10.1ha(R3)→10.9ha (R4) →12.0ha (R5) → 16.7ha (R7)
- 団地化面積が増加  
10.0ha(R3)→ 10.9ha (R4) →11.8ha (R5) → 15.7ha (R7)
- 単収が約2割増加  
257.2kg/10a(R3)→309kg/10a (R4)



### <安定した農業所得の確保>

- サブソイラによる排水対策を徹底し、出芽・苗立ちを確保することで収量増に繋げている
- 砕土率を高める播種前の耕起による安定した出芽・苗立ちと、除草剤による抑草効果で、収量増に繋げている